

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第11週 2025年3月10日（月）～2025年3月16日（日）2025年3月21日作成

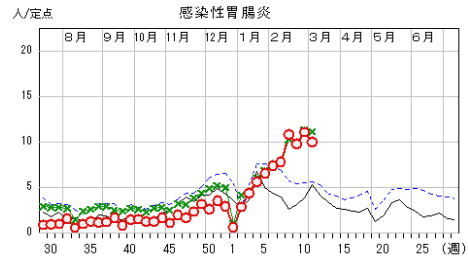
☆定点[※]報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1） 感染性胃腸炎

第11週の報告数は430人で、前週より47人少なく、定点当たりの報告数は10.00であった。

年齢別では、10～14歳（60人）、2歳（50人）、3歳（42人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（22.33）、佐世保市保健所（16.80）であった。

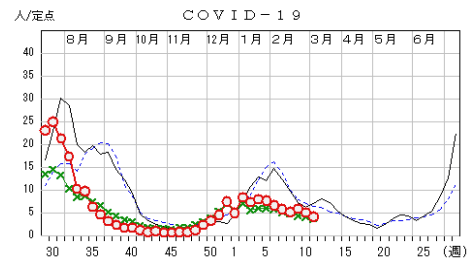


（2） 新型コロナウイルス感染症

第11週の報告数は284人で、前週より68人少なく、定点当たりの報告数は4.12であった。

年齢別では、70～79歳（44人）、80歳以上（37人）、40～49歳（32人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所（7.00）、県北保健所（5.00）であった。

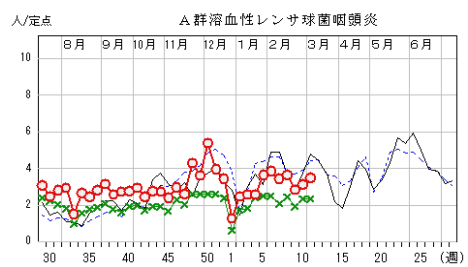


（3） A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第11週の報告数は150人で、前週より16人多く、定点当たりの報告数は3.49であった。

年齢別では、10～14歳（34人）、6歳（18人）、4歳（17人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（17.80）であった。



○—○ 当年(長崎県) — 前年(長崎県)
×—× 当年(全国) - - - 前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：69、小児科定点数：43、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【感染性胃腸炎】

第11週の報告数は430人で、前週より47人少なく、定点当たり報告数は10.00でした。地区別にみると、県北地区（22.33）、佐世保地区（16.80）は、警報レベルの報告数となっています。今後も動向に注意しましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

第11週の報告数は284人で、前週より68人少なく、定点当たり報告数は4.12でした。地区別にみると、対馬地区（7.00）、県北地区（5.00）は他の地区より多くなっています。年代別では、10歳未満（16.2%）、70代（15.5%）、80代以上（13.0%）の順に多くなっています

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避など基本的な感染対策に努めましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

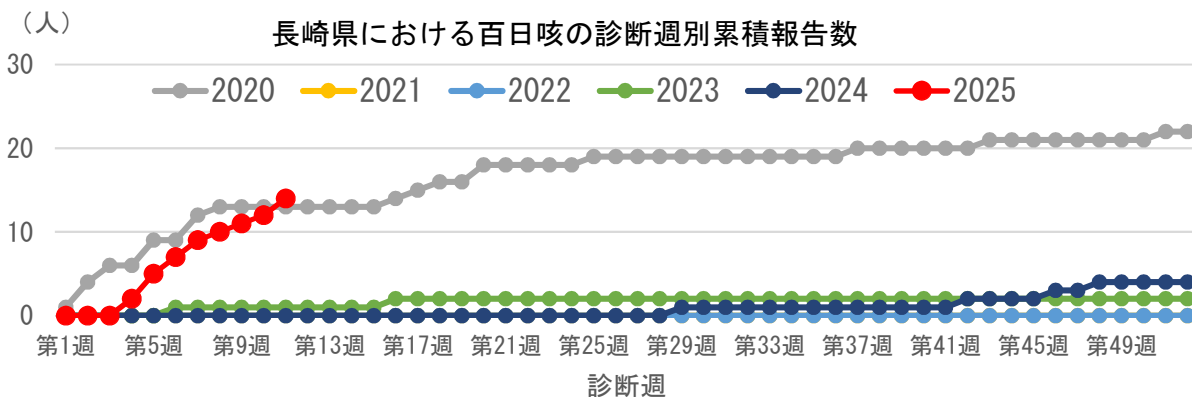
第11週の報告数は150人で、定点当たりの報告数は3.49でした。地区別では、県南地区（17.80）が警報レベルの報告数となっています。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

☆トピックス：百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

ワクチンの定期接種により発生数は激減していますが、2025年は第11週までに14件の報告があり、過去5年と比較して多くなっています。年代別では、10代が8割以上を占めています。感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。

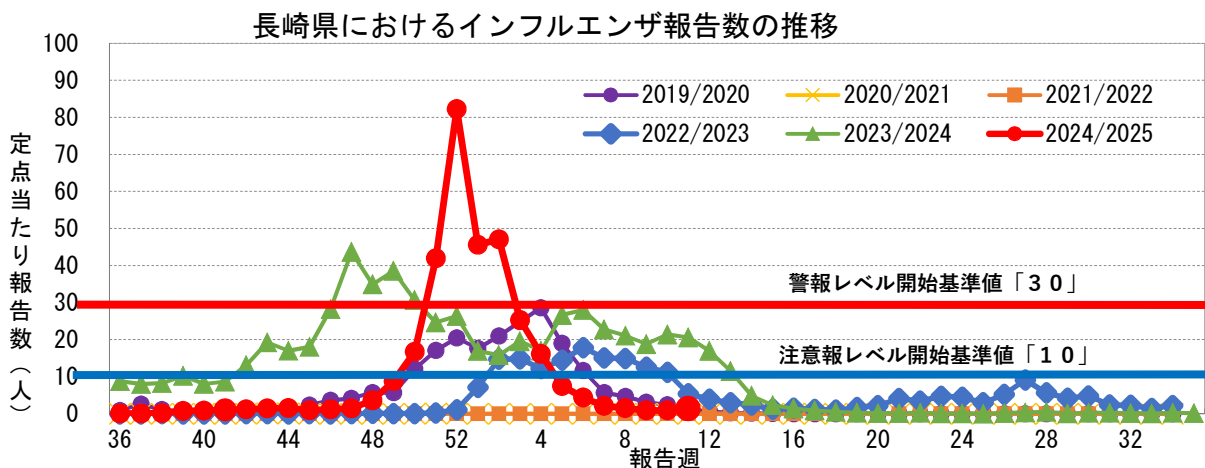


☆トピックス：インフルエンザに注意しましょう

インフルエンザの2025年第11週の報告数は92人で定点当たり報告数は「1.33」となり、前週より増加しました。年代別では、10代（48%）、10歳未満（35%）が多くなっています。

また、長崎県環境保健研究センターにおいて、2024/2025シーズンに搬入された検体から、インフルエンザA/H1pdm09、A/H3、B/victoria系統の遺伝子が検出されています。

今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。

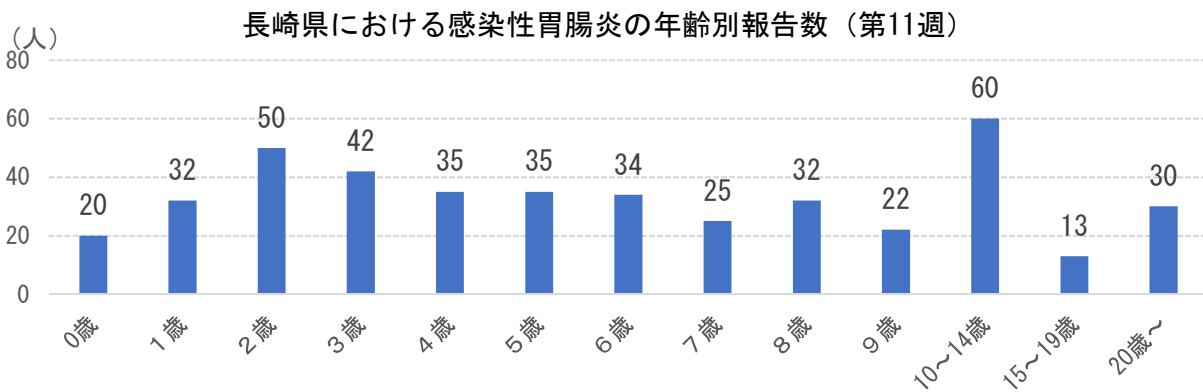
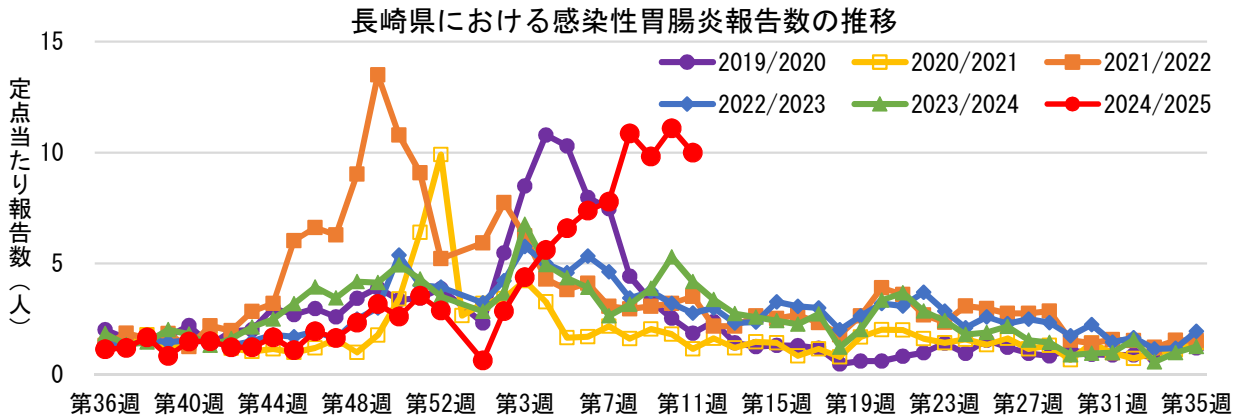


☆トピックス：感染性胃腸炎を予防しましょう

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、県内の小児科定点からの報告を集計しています。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

感染性胃腸炎の第11週の定点当たり報告数は「10.00」でした。地区別では、県北地区（22.33）、佐世保地区（16.80）が警報レベルの報告数となっています。

年代別では、10～14歳（14%）、2歳（12%）、3歳（10%）の順に多くなっています。予防には手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、感染防止に努めましょう。



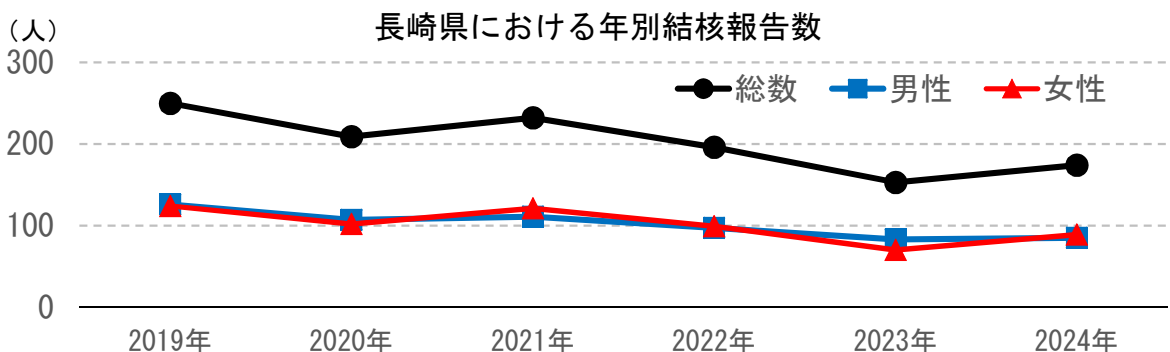
☆トピックス：3月24日は世界結核デーです

世界保健機関（WHO）は、細菌学者ロベルト・コッホが1882年に結核菌の発見を発表した日にちなみ、毎年3月24日を「世界結核デー」と定めています。

結核は、結核菌の感染により起こる感染症で、多くは肺に炎症を起こします（肺結核）。肺結核の症状は、咳、喀痰、微熱が典型的とされており、胸痛、呼吸困難、血痰、全身倦怠感、食欲不振等を伴うこともあります。また、肺以外にもリンパ節や骨・関節、腎臓などさまざまな臓器に病変を起こすこともあります。

長崎県では、人口10万人当たりの結核罹患率が例年全国ワースト10位に入っており、2023年はワースト6位（9.8）でした（全国平均は8.1）。

結核は、早期発見・早期治療が重要です。咳や痰、微熱、体のだるさなどの症状が2週間以上続く場合は、医療機関を受診しましょう。



◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 無症状病原体保有者 女性（80代以上・1名）

3類感染症：報告なし

4類感染症：E型肝炎 患者 男性（70代・1名）

5類感染症(全数把握対象)：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者 男性（60代・1名）
 梅毒 患者 男性（30代・1名、40代・1名、50代・2名）
 百日咳 患者 男性（10代・1名） 女性（10代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第6～11週、2/3～3/16)

疾患名	定点当たり患者数					
	6週	7週	8週	9週	10週	11週
	2/3～	2/10～	2/17～	2/24～	3/3～	3/10～
インフルエンザ	4.40	2.10	1.50	0.93	0.90	1.33
新型コロナウイルス感染症	6.70	5.87	5.17	5.90	5.10	4.12
RSウイルス感染症	0.36	0.55	0.98	0.98	1.53	2.28
咽頭結膜熱	0.32	0.34	0.43	0.34	0.60	0.56
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.84	3.45	3.66	2.84	3.12	3.49
感染性胃腸炎	7.39	7.80	10.86	9.82	11.09	10.00
水痘	0.39	0.16	0.34	0.18	0.33	0.05
手足口病	0.11	0.02		0.02		
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.30	0.07	0.23	0.11	0.07	0.33
突発性発しん	0.34	0.25	0.09	0.18	0.19	0.33
ヘルパンギーナ				0.05	0.02	
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.05		0.05		0.02	0.02
急性出血性結膜炎	0.25	0.38		0.50	0.25	1.00
流行性角結膜炎	1.38	1.75	2.00	0.75	1.50	0.63
細菌性髄膜炎		0.08			0.08	
無菌性髄膜炎				0.17		0.08
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.50	0.42	0.50	0.25	0.17
クラミジア肺炎（ワム病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08		0.17	0.08	0.17	0.08

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第11週、3/10～3/16) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	1.33	3.70	0.71	2.67		1.82		3.75			
新型コロナウイルス感染症	4.12	4.30	3.47	4.00	4.00	4.36	4.13	5.00	2.50	4.67	7.00
RSウイルス感染症	2.28	6.80	1.90	0.50	2.50	1.86	1.80	2.00	2.00		
咽頭結膜熱	0.56		1.80		0.25			1.67			
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.49	2.20	0.80	0.50	3.50	1.57	17.80	4.67			1.00
感染性胃腸炎	10.00	16.80	13.90		14.00	11.00	1.40	22.33			
水痘	0.05			0.50						0.50	
手足口病											
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.33	0.40	0.70		0.75	0.29					
突発性発しん	0.33	1.00	0.30			0.71	0.20				
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.02		0.10								
急性出血性結膜炎	1.00		0.33				7.00				
流行性角結膜炎	0.63						5.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎	0.08					1.00					
マイコプラズマ肺炎	0.17							2.00			
クラミジア肺炎（ワム病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08		0.33								